

2019年度
教 育 要 項

理学療法学科 第3学年



宮崎リハビリテーション学院

授業名	運動療法Ⅲ	履修時期	時間数（回数）	単位数
		3年	30（15）	1
担当講師	新地 昭彦、長友 典子、串木野 直樹、 村野 信之、大寺 健一郎、馬場 義行 （理学療法学科 専任教員）	授業形態	必須/選択	
		発表、実技	必須	
教科書	・臨床実習レジュメ	成績評価		
参考書		・セミナー発表資料、セミナー発表で評価する（100点） ・60点以上で合格とする		
授業概要	・臨床実習に臨むにあたって、基本的リスク管理を始め、実習に対する意識を高め、教務とのディスカッションや症例報告会（セミナー）を通して、多様なクリニカルリレーズニングの手法を考察する。 ・基本的な治療の流れを学生同士で体験する。			
授業目標	・理学療法の臨床において必要とされる知識・技術等を統合し、説明することができる。			
授業内容				
回数	内容			準備学習・課題等
1	特別講義（臨床実習概論）			発表用のパワーポイントは指定された書式で記入すること。
2	特別講義（臨床実習に向けての心構え）			
3	特別講義（臨床治療の実際）			
4	第Ⅰ期臨床実習セミナー①（口述発表）			
5	第Ⅰ期臨床実習セミナー②（口述発表）			
6	第Ⅰ期臨床実習セミナー③（口述発表）			
7	第Ⅰ期臨床実習セミナー④（口述発表）			
8	第Ⅰ期臨床実習セミナー⑤（実技発表）			
9	第Ⅰ期臨床実習セミナー⑥（実技発表）			
10	第Ⅱ期臨床実習セミナー①（口述発表）			
11	第Ⅱ期臨床実習セミナー②（口述発表）			
12	第Ⅱ期臨床実習セミナー③（口述発表）			
13	第Ⅱ期臨床実習セミナー④（口述発表）			
14	第Ⅱ期臨床実習セミナー⑤（実技発表）			
15	第Ⅱ期臨床実習セミナー⑥（実技発表）			
備考 発表用のパワーポイントの書式は別途指示する。				
教員の実務経験	新地 昭彦（臨床経験 23年） 長友 典子（臨床経験 9年） 串木野 直樹（臨床経験 13年） 村野 信之（臨床経験 11年） 大寺 健一郎（臨床経験 13年） 馬場 義行（臨床経験 9年）			
実務経験を活かした教育内容	長期実習での症例報告会では、実際の臨床現場での考え方や対応について、実践的な指導を行う。			

授業名	理学療法統合Ⅱ	履修時期	時間数（回数）	単位数
		3年	30（15）	1
担当講師	新地 昭彦、長友 典子、串木野 直樹、 村野 信之、大寺 健一郎、馬場 義行 （理学療法学科 専任教員）	授業形態	必須/選択	
		講義、実技	必須	
教科書	・特別講義資料 ・国家試験問題 ・模擬試験問題	成績評価 ・筆記試験（100点） ・模擬試験での全国偏差値50を 60点に換算し、60点以上を合格とする。		
参考書				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法に関する知識・技術 ・国家試験受験を想定した国試対策講義 ・国家試験レベルの課題の実施 ・国家試験問題の過去問題の実施 			
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験において国家試験合格レベルの得点をとることができる。 ・国家試験の過去問題において国家試験合格レベルの得点をとることができる。 			
授業内容				
回数	内容	準備学習・課題等		
1	疾患別理学療法統合（理学療法概論）	国家試験合格レベルの知識が整理できるよう、復習をしっかりと行う。		
2	疾患別理学療法統合（運動療法）			
3	疾患別理学療法統合（物理療法）			
4	疾患別理学療法統合（義肢装具学）			
5	疾患別理学療法統合（日常生活活動学）			
6	疾患別理学療法統合（理学療法評価学①）			
7	疾患別理学療法統合（理学療法評価学②）			
8	疾患別理学療法統合（中枢神経障害①）			
9	疾患別理学療法統合（中枢神経障害②）			
10	疾患別理学療法統合（骨関節障害①）			
11	疾患別理学療法統合（骨関節障害②）			
12	疾患別理学療法統合（運動発達障害）			
13	疾患別理学療法統合（内部障害）			
14	疾患別理学療法統合（神経筋障害）			
15	疾患別理学療法統合（地域理学療法学）			
備考 講義では講義プリントを配布する。また、定期的に模擬試験を実施する。				
教員の実務経験	新地 昭彦（臨床経験 23年） 長友 典子（臨床経験 9年） 串木野 直樹（臨床経験 13年） 村野 信之（臨床経験 11年） 大寺 健一郎（臨床経験 13年） 馬場 義行（臨床経験 9年）			
実務経験を活かした教育内容	臨床問題に対応できるよう、基礎的な知識だけでなく、より臨床的なシチュエーションを想定した講義、実技を行う。			

授業名	臨床実習Ⅱ	履修時期	時間数（回数）	単位数
		3年	720	16
担当講師	全国各施設臨床実習指導者、理学療法学科専任教員	授業形態	必須/選択	
		実習	必須	
教科書		成績評価		
参考書		<ul style="list-style-type: none"> ・実習指導者の学生評価を専任教員が総合評価し点数化する（100点） ・60点以上で合格とする 		
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設において各期 50 日間の実習を行い、様々な症例に対する臨床的知識・技術を学ぶ 			
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者の持つ諸問題（身体的、心理的、経済的、社会的、家庭的）を対象者の立場に立って理解し、最終的にはこれらの諸問題のうち理学療法の適用となる問題についての解決をはかるための基本的な理学療法が実施できるようになる。 ・リハビリテーションチームの一員として協調性のある行動を遂行できるようになる。 ・リハビリテーションチームにおける理学療法士の役割、病院施設における他の関連職種の理解とその他、地域社会における病院施設の役割を説明できるようになる。 ・複雑な障害像を呈しない一般的な疾患に対して、基本的理学療法をある程度の助言・指導のもとに行えるようになる。 			
授業内容				
回数	内容		準備学習・課題等	
	臨床実習Ⅱ（臨床実習） 1期：平成31年4月22日～7月10日（内50日間） 2期：平成31年7月29日～10月11日（内50日間）		デイリーノート、CCS チェックリストが記載 できるよう事前に練習 をしておくこと。	
備考 デイリーノート、CCS チェックリストの記入方法については説明を行う。				
教員の実務経験		各施設の臨床実習指導者（指定規則に準ずる（3年以上の臨床経験））		
実務経験を活かした教育内容		臨床現場で指導者の監視のもと、実際に患者の治療にあたる。		

